



《コロナに負けずに頑張ろう！！》

金沢龍馬會会長 蛭子政喜



会員の皆様お元気で日常生活をされている事と思います。

さて、当龍馬會も新型コロナウイルス感染拡大予防のために会員の安全安心を最優先して活動を3月より自粛しております

のでご理解をお願い申し上げます。

現在、全国各地での各種イベント等は安全を優先して中止、延期となっております。

金沢龍馬會も世間のイベント開催が許される社会情勢になりましたら改めてイベント企画を推進してまいりたいと思います。

それまで会員の皆様は健康に留意してお過ごしください。

秋口には会員の皆様とまたお会いできることを非常に楽しみにしております。

コロナに負けないうお互いに頑張りましょう。

《総会(月見会)》

日時：9月26日(土) 15:00~18:00

場所：桜はなび

15:00~ 総会
講演会

松岡憲吾氏の講演「天狗党」

16:00~ 懇親会

費用：参加費¥3,000円、
年会費¥3,000円

●年会費納入のお願い

**2020年4月から来年3月迄の年会費：
¥3,000-**

例会ご出席の折か次の口座まで送金下さい。

郵便局 口座No. 00780-5-38627

口座名義 金沢龍馬會

振込手数料は龍馬會が負担。3千円のみです。

《特報》

第32回龍馬 World 松山大会》

慶應3年龍馬が紡ぐ命のバトン

日時：10月10日(土) 11日(日)

10日：13:00~20:45

11日：エクスカージョン

会場：本大会「愛媛県県民文化会館サブホール」

http://www.ecf.or.jp/e_kenbun/subhall/index.html

講演：宮川禎一氏(京都国立博物館研究員)

交流会：愛媛県県民文化会館 真珠の間

【会員のつぶやき】

“龍馬に学ぶ人脈づくり”

大坪 信善さん



龍馬はなぜもてたのか。大志を持ち、剣の達人で、人当たりも良かったと推察される。

NHK大河ドラマ「麒麟がくる」で、明智光秀が鉄砲の名手だったことに加え、龍馬同様、城主、今の世なら上司に頼られ、手足となりながらも自らの信念を捨てずに交渉事に臨んだこと

が分かる。

脱藩浪士の龍馬がなぜ時の要人・大物に会えたのか、越前藩主の松平春嶽には、勝海舟の紹介状があった。

その勝海舟には、暗殺に行きながら弟子入りを申し込む。相手の懐に飛び込む。その気概、人たらしといえいいのか、卓越したネゴシエーターだったと思う。ジャーナリストのごとくジョン万次郎や蘭学を学んだ医者などから取材し、どんな時代なのかを洞察している。

新聞記者33年、加能人の編集13年半。人に会って取材する生業を長年続けているが、龍馬のネットワークの良さ、人脈作りに学びたい。

昨夏、土佐よさこいと阿波踊りなどの見物ついでに高知県立龍馬記念館や桂浜の龍馬像を拝見した。

旅行途中にダウンしたが、土佐行きは良かった。コロナ禍の機に「日本をいま一度洗濯」してほしいものだ。



まるわかり「龍馬と志士たち」⑤

志士たちが活躍した長崎とは ～伊藤博文～

伊藤博文は農民の出自にもかかわらず日本最初の総理大臣となった。父が長州藩足軽の養子となったので彼も士分を得た。身分が低いので松下村塾では当初軒先で立ったまま聴講したとの事。17歳で従者として長崎に来ている。

その後、桂小五郎の従者となり江戸にも行った。当時の名前は吉田松陰先生から賜った伊藤俊輔である。また後の井上馨と仲良くなり共に悪戯をしたらしい。文久2年には江戸高輪に建設中の英国公使館を焼き討ちしている。攘夷を断行したのである。

それにもかかわらず次年にはグラバーさん達の協力で長州ファイブの一員としてイギリスへ密航・留学している。

身元保証は中国におけるアヘン取扱い商社であるジャーディン・マセソン商会であった（グラバーは上海にいたとき同社の社員で日本に来てからは独立したが同社の代理店であった）。

しかしその1年後、井上馨と共に帰国してしまった。その理由は長州藩が列強艦隊に砲撃したいわゆる攘夷実行に対する列強の長州藩に対する報復が始まると聞き、居ても立っても居られなくなったものである。

残りの3名はなおも英国に留まり、しっかりと勉強し、維新以降それぞれ造幣局、工学、鉄道の父と呼ばれる理系人士となり国家建設に貢献した。

俊輔は長崎に何回も来ている。話は戻るが17歳で初めて来たとき、長州藩邸に住み上司とオランダ人教官から訓練された。

同時にグラバーさんや他の外国人と親しくなり下手な英語を恐れもなく使ったらしい。

その内、かなり上達した。イギリスから帰った後、幕府の出先である長崎奉行の目をかい潜り何回も長崎に潜入している。

任務は亀山社中の協力を仰ぎ、グラバー達から薩摩藩名義で軍艦と小銃を買うことであった。

またグラバーさんと一緒に上海へ行き汽船を買い付け、直接下関へ回航した。

維新後も得意な英語を使い大久保利通等と親しくなり出世階段を駆け上る。初代総理大臣に就任し、都合4回も総理大臣を務めた。

同時に食通・趣味人であり、長崎をはじめ各地の料亭を訪れ、請われて新しい料亭名を授けたり、書を与えている。またフグ食を解禁したことも語り継がれている。

今でもそうかもしれないが、若いとき恥を恐れず外国語をしゃべり、海外の人脈を広げるといろいろなチャンスが広がるらしい。

長州ファイブ



（上段左から）
遠藤謹助<造幣>、井上勝<鉄道>、伊藤博文
（下段左から）井上馨、山尾庸三<工学>

参考資料：長崎新聞、Wikipedia
「続く」（記：吉田信夫）

【編集後記】

皆さま、今年は「新型コロナウイルス」発生の為今年1月23日の新年会以来お逢いしていません。9月の総会で何とか交流を深めたいと思っています。心の中に常に“龍馬の志し”を持ち張り切ってまいりましょう。

会報も第24号が完成、漸く皆さまにお届けすることが出来ました。

***** 事務局*****

金沢龍馬会

会長：蛭子政喜

事務局長：吉田信夫

080-5600-1113

jitianxinfu@hotmail.com

会報担当：中田俊郎 090-7806-2269

n-toshio@muji.biglobe.ne.jp

金沢龍馬会 公式ホームページ

<http://kanazawa-ryomakai.com/>

金沢龍馬会 facebook

<https://www.facebook.com/kanazawa.ryomakai?sk=wall&filter=2>

